

山村留学 八坂美麻学園

自然に学ぶ暮らしに学ぶ

公益財団法人育てる会



1968～育てる会

子どもが真の生きる力を獲得するには、
様々な自然体験、生活体験の場が必要！



農家泊を中心とする週末や長期休みを利用した短期活動を展開(9年間)
→年間を通じた体験の場を求める声

1976～大町市(旧八坂村)にて**日本初の山村留学制度スタート**



延べ1400人以上が巣立つ



48年目(2023年度)

八坂美麻学園の山村留学システム



山村留学センター

約2週間 約10日間



学園併用方式



1 地域ホームステイ(農家)



2 異年齢集団生活 四季折々の体験活動



地域の暮らし



文化体験

3 徒歩通学(3~5km)



学校

八坂小中学校・美麻小中学校



山村留学センター(やまなみ山荘)

◇10日～2週間ごと、年間約175日

◇**学園生31名** 小3～中3
(小20・中11 男15・女16)

◇**指導員6名** 他、厨房スタッフ1名・指導補助1名(非常勤)

◇1年単位で留学 **継続平均2～3年**(継続19名・新入12名)

◇**集団生活・基本的生活習慣**の体得
自律→自立 我慢・思いやり・作法



◇**四季を通じた全体活動**(農作業・自然体験・山村文化体験)
→ 個々の興味関心を追求した**個人体験活動**へ



八坂美麻学園の1日 -平日編-



6:00

起床・
洗顔・布団たたみ・検温



6:15

朝のつどい



6:30

配膳・朝食



7:00 ころ

登校

学校での生活



17:00 ころ

小学生帰園

宿題・お風呂・洗濯



18:30 ころ

中学生帰園



18:35

配膳



18:45

夕食



19:15

掃除



20:15 ころ

演目練習やミーティング



21:00

小学生 消灯



22:30

中学生 消灯

起きて15分で外へ集合です

ラジオ体操→やまびこ挨拶→自然の話
頭・体をすっきりさせてから朝食です

いってきました!

帰園したらまず、宿題!
やるべきことを終わらせます。

正座をして、残さず食べます

お布団、気持ちー!

「やるべきこと」を全て終わらせれば自分たち

宿題をしたり、おしゃべりしたり...



年間を通じた農作業(四季の体験・労働体験)



➡ 自然への畏れ・自然の恵み・食への感謝



自然の力を全身で感じるダイナミックな体験
(北アルプス登山・キャンプ・船舶活動・古道歩き・スキー・雪遊び・・・)



➡雄大な自然の感動体験・自己に打ち克つ体験



農山村の暮らし・食文化(味噌づくり・野沢菜漬け・おやき作り・古民家生活・炭焼き・林業体験・・・)



➡受け継がれる文化や知恵・文化史的体験



個人体験活動: 個々の興味関心、個性特性に基づき体験を深める



「ここでしかできない体験」「自分の五感で体験」「～らしさ」
➡地域に眠る体験材、受け継がれた知恵、自然の不思議や
人の温かさを体感する



11月収穫祭

(個人体験と全体発表・伝統芸能表現・地域交流の場)



➡協力・達成・自己表現・感謝を伝える体験

地域ホームステイ(農家活動・山村生活)

- ◇10日～2週間ごと、年間約135日
- ◇現在7軒(八坂地区4軒・美麻地区3軒)
- ◇1家庭、2～6人の異年齢兄弟姉妹関係
- ◇家族の一員として1年間暮らす「父さん」「母さん」「～兄」「～姉」→家族になる体験
- ◇日々のお手伝いや週末の農作業、地域行事や年中行事にも参加し、農山村の「暮らしを学ぶ」



学校・通学

◇大町市立八坂小中学校(分離型義務教育学校)

前期課程(1~6年)

11名(留学生)/52名(全児童数)

通学路:片道3.8km

後期課程(7~9年)

6名(留学生)/15名(全生徒数)

通学路:片道5.0km



◇大町市立美麻小中学校(義務教育学校)

14名(留学生)/98名(全児童生徒数)

通学路:片道2.5km→スクールバス



- ・「歩く」通学路・・・自らの足で歩き自然を感じる
- ・小規模校ならではの特色ある教育
- ・コミュニティスクール(学校運営協議会制度)



育てる会八坂美麻学園 山村留学の理念・目的

自然・暮らしの多様な体験材

伝統文化・食文化

親元から離れる

異年齢での集団生活

基本的な生活習慣の体得

長い距離歩く

四季の自然

個性特性に基づく個別体験

苦勞・知恵
不便・不足
親和力

子どもの中に形成される力

葛藤・欲求不満に耐える力
「多少のことはがまん！」

他者の理解・受容する力
「人それぞれ物差しがある！」

活力・モチベーション
「自分はこれをするんだ！
これがしたいんだ！」



子どもが 自分の もって生まれた個性に目ざめ 自信を持ち
それを喜々として 自分の力で 育てていく

山村留学生の声



○山村留学での、自分の変化、成長、学びや気づきは？

だらだらだった毎日が、早くなった。こっちに来てすごい感謝するようになった。マイナスに考えていたことがプラスに考えられるようになった。（1年目・小4）

嫌いな食べ物を克服したり、必要じゃないものは頼まなくなった。人前でもあまり緊張しなくなった。（1年目・小5）

前までは嫌なことつらいことはいつも自分の心の中にしまっていたけど、ここにきて相談することを学んだ。そのおかげで自信が持てるようになった。（1年目・小5）

自分の意見を人に言えるようになった。思いついたらすぐ自分から行動できるようになった。声が大きくなった。（1年目・小6）

自分が周りの人にどれだけ思われているかが分かって、だんだんと自分に対する責任感が持ててきたような気がする。（2年目・小6）

山村留学生の声



○山村留学に来てよかったと思うことは？

自分のいいところ、悪いところに気づけた。気づけたことで悪いところを直してよいところを伸ばせた。（1年目・小5）

スキーがたくさんできた。たくさん歩けた。畑も炭焼きもできた。都会ではできないことをたくさんできてよかった。（2年目・小4）

「変わった」というのが一番。自然での楽しさを見つけ、ゲーム、漫画とかよりも無限に楽しさがあって、飽きない楽しさを見つけた。（2年目・小6）

人と話すのが楽しくなった。家族が好きになった。（2年目・中2）

見えないもの（相手の思い、自分の気持ちなど）が見えるようになった。（3年目・中2）

心から本当に大切と思える人たちに出会えたこと。（3年目・中3）

あきらめないようになれたことや、自分に対してしっかりと問いかけられるようになったこと。（5年目・中3）

山村留学生の声



○自分にとって山村留学とは？

自分に自由が持てるところ。できないことを一つひとつ重ねていってできるようになれるところ（1年目・小3）

うれしいこともつらいこともかなしいこともいやなことも楽しいことも、みんなで一緒にいろいろなことを乗り越えて、成長していく場所（1年目・小4）

本当の自分と向き合える場所。最後はみんなで肩を誰とでも組めるようになる、他人も認め自分も認められる場所。（1年目・小5）

当たり前前の生活から抜けてみて、当たり前前の生活の有難さを感じられるところ。（1年目・小6）

成長できる場所。人間関係や自分で乗り越えることが多くて大変だけど、支えてくれる人もたくさんいるので、本当に幸せな場所。（3年目・小5）

自分を試す場所。どれだけ自分が真剣になり、本気になるか、集団生活を通して学ぶ場所。（4年目・中2）

山村留学までのステップ

- ① 資料請求または説明会（東京都三鷹駅付近）への参加
* 春、夏、冬の短期山村留学プログラムに参加
- ② 現地での体験入園に参加（留学を希望する場合は必須）
* 1泊2日で、学園での生活体験と学校見学、指導者と懇談等
- ③ 願書請求
- ④ 親子面接会（①11月 ②12月 ③1月）
- ⑤ 留学決定



年間を通して、四季の移ろい・変化を全身で感じる日々



山村留学 八坂美麻学園

問い合わせ先：育てる会東京本部

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1丁目6番7号 朝日生命ビル5F

TEL : 0422-56-0151

FAX : 0422-56-0351

E-MAIL : mado@sodateru.or.jp

<http://www.sodateru.or.jp/>

公益財団法人育てる会

